

モニタリング総合評価表(施設全体評価)(令和4年度分)

令和5年6月1日

指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
 (旧称) 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 所管課名 市民生活部市民生活課

(1)施設ごとの総合点数及び総合評価(施設全体評価)

施設名	総合点数
<u>豊川コミュニティセンター</u>	<u>82.3 点</u>
<u>沼ノ端コミュニティセンター</u>	<u>80.2 点</u>
<u>住吉コミュニティセンター</u>	<u>83.2 点</u>
<u>のぞみコミュニティセンター</u>	<u>84.1 点</u>
総合評価(施設全体評価)(4施設平均)	82.45 点

(2)〇施設の項目別の評価点平均

モニタリング項目	評価点平均
1 事業計画の達成度(配点28点)	
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(10点)	8.00
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。(10点)	8.00
(上記以外の施設 配点10点) 施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	0.00
自主事業は計画どおり行われたか。(4点)	3.20
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。(4点)	3.20
2. 利用者の満足度(配点20点)	
利用者の満足が得られているか。(10点)	10.00
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。(5点)	4.00
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。(5点)	4.00
3 管理運営の効率性(配点18点)	
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。(7点)	5.95
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。(5点)	4.25
収入増加のための取組はされているか。(6点)	4.80
4 適正な管理運営(配点29点)	
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。(5点)	3.625

職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。（3点）	2. 40
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。（3点）	2. 175
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。（3点）	3. 00
収支の状況に不適切な点はないか（収支計画との乖離など）。会計処理は適切か（3点）	2. 40
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	2. 40
書類・備品等の管理は適正に行われているか。（3点）	2. 175
安全対策（事故防止等）は十分だったか。（3点）	2. 40
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。（3点）	2. 475
5 地域貢献（配点5点）	
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	4. 00
総合点数（100点満点）※小数点の端数処理の関係上、総合評価（施設全体評価）と一致しない場合があります。	82. 45点
【加点項目】法人等が障害者雇用率を達成しているか。（3点）	0. 00
総合点数（103点満点）	82. 45点

総合評価

AA **A** B・C・D・E

AA:90点以上

事業計画書の内容（目標）を上回る取組が実行されるなど、モニタリングの結果においても極めて優れていると認められる。

A:80点以上 90点未満

事業計画書の内容（目標）どおり又はそれ以上の取組が実行されており、モニタリングの結果においても優れていると認められる。

B:65点以上 80点未満

事業計画書の内容（目標）の取組が概ね実行されており、モニタリングの結果においても良好と認められる。

C:50点以上 65点未満

事業計画書の内容（目標）に沿って適正に管理運営が行われ、モニタリングの結果においても特に問題がないと認められる。

D:30点以上 50点未満

事業計画書の内容（目標）に一部未実施（未達成）があるなど、管理運営において計画の内容を下回っており、モニタリングの結果においても一部改善点ありと認められる。

E:0点以上 30点未満

管理運営の状況が事業計画書の内容（目標）を大幅に下回り、モニタリングの結果からかなりの部分において改善が必要と認められる。

《総評》

施設の管理運営は良好である。市内に 4 館あるコミュニティセンターともに、各館の地域性や利用者の声を反映した特色のある講座及び自主事業に年間を通じて積極的に取り組んでいる。

令和 4 年度はコロナウイルスによる規制も緩和され、休館が無く、利用者数もコロナ禍以前の水準まで戻りつつある。高齢者に焦点を当てた事業等については、全面開催は厳しかったが、ほぼ全ての事業を開催することができた。

利用者アンケートは各館ともに高い満足度となっている。今後も地域住民及び利用者の提案等を迅速に反映させ、多世代の方が交流できる地域コミュニティの拠点として、利用者の期待に応えられるよう、より良い管理運営に努めていただきたい。

モニタリング総合評価内訳表(令和4年度分)

令和5年6月1日

施設名 苦小牧市豊川コミュニティセンター
 指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
 (旧称) 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 所管課名 市民生活部市民生活課

モニタリング項目	チェック方法	評価				
		特優	優	普通	劣	特劣
1 事業計画の達成度(配点28点)						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(10点)	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。(10点)	事業計画書、四半期報告、事業報告書、実地調査	10	8.0	5.0	2.0	0
(上記以外の施設 配点10点) 施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
自主事業は計画どおり行われたか。(4点)	事業計画書、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。(4点)	事業計画書、実地調査、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
2. 利用者の満足度(配点20点)						
利用者の満足が得られているか。(10点)	アンケート調査など	10	8.0	5.0	2.0	0
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。(5点)	アンケート調査、事業報告書など	5	4.0	2.5	1.0	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。(5点)	四半期報告書、アンケート調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
3 管理運営の効率性(配点18点)						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。(7点)	収支計画書、四半期報告、事業報告書	7	5.6	3.5	1.4	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。(5点)	事業報告書・実地調査・収支報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
収入増加のための取組はされているか。(6点)	事業報告書・収支報告書	6	4.8	3.0	1.2	0

4 適正な管理運営（配点29点）						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（5点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	5	4.0	2.5	1.0	0
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。（3点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。（3点）	四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。（3点）	事業計画書、四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか（収支計画との乖離など）。会計処理は適切か（3点）	収支計画書、収支報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分だったか。（3点）	実地調査・事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。（3点）	事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
5 地域貢献（配点5点）						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	実地調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
総合点数（100点満点）		82.3点				
【加点項目】法人等が障害者雇用率を達成しているか。（3点）	障害者雇用率調書など	3.0		0		
総合点数（103点満点）		82.3点				

【評価基準】配点×掛け率＝評価点

評価	大変優れている	優れている	普通	劣っている	全く劣っている
掛け率	1.0	0.8	0.5	0.2	0

《総評》

施設の管理運営は良好である。新型コロナウイルスによる制限が緩和され、利用者数、収支ともに回復傾向にある。様々な人たちが出会い交流できる地域の居場所づくりを目指し、多岐に亘った内容の講座を展開する等、利用者のニーズの把握に努めた結果、講座からサークル化へとつながっている。親子参加型の事業も多数展開しており、魅力ある講座及び自主事業の企画により、地域のコミュニティ活動の拠点としての役割を果たしている。

指定管理者セルフモニタリングの結果 **★★★★★**

【総合評価結果とセルフモニタリング結果との差異など。セルフモニタリングに対する評価】

各項目を比較するとセルフモニタリング結果は総合評価に比べ、高い評価となっているが、利用者の高い満足度に表れているとの自己評価が、セルフモニタリング評価に反映されているものと受け止めている。

モニタリング総合評価内訳表(令和4年度分)

令和5年6月1日

施設名 苦小牧市沼ノ端コミュニティセンター
 指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
 (旧称) 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 所管課名 市民生活部市民生活課

モニタリング項目	チェック方法	評価				
		特優	優	普通	劣	特劣
1 事業計画の達成度(配点28点)						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(10点)	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。(10点)	事業計画書、四半期報告、事業報告書、実地調査	10	8.0	5.0	2.0	0
(上記以外の施設 配点10点) 施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
自主事業は計画どおり行われたか。(4点)	事業計画書、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。(4点)	事業計画書、実地調査、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
2. 利用者の満足度(配点20点)						
利用者の満足が得られているか。(10点)	アンケート調査など	10	8.0	5.0	2.0	0
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。(5点)	アンケート調査、事業報告書など	5	4.0	2.5	1.0	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。(5点)	四半期報告書、アンケート調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
3 管理運営の効率性(配点18点)						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。(7点)	収支計画書、四半期報告、事業報告書	7	5.6	3.5	1.4	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。(5点)	事業報告書・実地調査・収支報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
収入増加のための取組はされているか。(6点)	事業報告書・収支報告書	6	4.8	3.0	1.2	0

4 適正な管理運営（配点29点）						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（5点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	5	4.0	2.5	1.0	0
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。（3点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。（3点）	四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。（3点）	事業計画書、四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか（収支計画との乖離など）。会計処理は適切か（3点）	収支計画書、収支報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分だったか。（3点）	実地調査・事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。（3点）	事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
5 地域貢献（配点5点）						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	実地調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
総合点数（100点満点）		80.2点				
【加点項目】法人等が障害者雇用率を達成しているか。（3点）	障害者雇用率調書など	3.0		0		
総合点数（103点満点）		80.2点				

【評価基準】配点×掛け率＝評価点

評価	大変優れている	優れている	普通	劣っている	全く劣っている
掛け率	1.0	0.8	0.5	0.2	0

《総評》

施設の管理運営は良好である。新型コロナウイルスによる制限が緩和され、利用者数、収支ともに回復傾向にある。様々な人たちが出会い交流できる地域の居場所づくりを目指し、多岐に亘った内容の講座を展開する等、利用者のニーズの把握に努めた結果、講座からサークル化へとつながっている。親子参加型の事業も多数展開しており、魅力ある講座及び自主事業の企画により、地域のコミュニティ活動の拠点としての役割を果たしている。

指定管理者セルフモニタリングの結果 **★★★★☆**

【総合評価結果とセルフモニタリング結果との差異など。セルフモニタリングに対する評価】

各項目を比較するとセルフモニタリング結果は総合評価に比べ、高い評価となっているが、利用者の高い満足度に表れているとの自己評価が、セルフモニタリング評価に反映されているものと受け止めている。

モニタリング総合評価内訳表(令和4年度分)

令和5年6月1日

施設名 苦小牧市住吉コミュニティセンター
 指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
 (旧称) 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 所管課名 市民生活部市民生活課

モニタリング項目	チェック方法	評価				
		特優	優	普通	劣	特劣
1 事業計画の達成度(配点28点)						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(10点)	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。(10点)	事業計画書、四半期報告、事業報告書、実地調査	10	8.0	5.0	2.0	0
(上記以外の施設 配点10点) 施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
自主事業は計画どおり行われたか。(4点)	事業計画書、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。(4点)	事業計画書、実地調査、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
2. 利用者の満足度(配点20点)						
利用者の満足が得られているか。(10点)	アンケート調査など	10	8.0	5.0	2.0	0
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。(5点)	アンケート調査、事業報告書など	5	4.0	2.5	1.0	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。(5点)	四半期報告書、アンケート調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
3 管理運営の効率性(配点18点)						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。(7点)	収支計画書、四半期報告、事業報告書	7	5.6	3.5	1.4	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。(5点)	事業報告書・実地調査・収支報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
収入増加のための取組はされているか。(6点)	事業報告書・収支報告書	6	4.8	3.0	1.2	0

4 適正な管理運営（配点29点）						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（5点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	5	4.0	2.5	1.0	0
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。（3点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。（3点）	四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。（3点）	事業計画書、四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか（収支計画との乖離など）。会計処理は適切か（3点）	収支計画書、収支報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分だったか。（3点）	実地調査・事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。（3点）	事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
5 地域貢献（配点5点）						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	実地調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
総合点数（100点満点）		83.2点				
【加点項目】法人等が障害者雇用率を達成しているか。（3点）	障害者雇用率調書など	3.0		0		
総合点数（103点満点）		83.2点				

【評価基準】配点×掛け率＝評価点

評価	大変優れている	優れている	普通	劣っている	全く劣っている
掛け率	1.0	0.8	0.5	0.2	0

《総評》

施設の管理運営は良好である。新型コロナウイルスによる規制が緩和され、利用者数、収支ともに回復傾向にある。様々な人たちが出会い交流できる地域の居場所づくりを目指し、多岐に亘った内容の講座を展開する等、利用者のニーズの把握に努めた結果、講座からサークル化へとつながっている。親子参加型の事業も多数展開しており、魅力ある講座及び自主事業の企画により、地域のコミュニティ活動の拠点としての役割を果たしている。

指定管理者セルフモニタリングの結果 **★★★★☆**

【総合評価結果とセルフモニタリング結果との差異など。セルフモニタリングに対する評価】

各項目を比較するとセルフモニタリング結果は総合評価に比べ、高い評価となっているが、利用者の高い満足度に表れているとの自己評価が、セルフモニタリング評価に反映されているものと受け止めている。

モニタリング総合評価内訳表(令和4年度分)

令和5年6月1日

施設名 苦小牧市のぞみコミュニティセンター
 指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
 (旧称) 特定非営利活動法人ワーカーズコープ
 所管課名 市民生活部市民生活課

モニタリング項目	チェック方法	評価				
		特優	優	普通	劣	特劣
1 事業計画の達成度(配点28点)						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(10点)	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。(10点)	事業計画書、四半期報告、事業報告書、実地調査	10	8.0	5.0	2.0	0
(上記以外の施設 配点10点) 施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	事業計画書、事業報告書	10	8.0	5.0	2.0	0
自主事業は計画どおり行われたか。(4点)	事業計画書、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。(4点)	事業計画書、実地調査、事業報告書	4	3.2	2.0	0.8	0
2. 利用者の満足度(配点20点)						
利用者の満足が得られているか。(10点)	アンケート調査など	10	8.0	5.0	2.0	0
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。(5点)	アンケート調査、事業報告書など	5	4.0	2.5	1.0	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。(5点)	四半期報告書、アンケート調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
3 管理運営の効率性(配点18点)						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。(7点)	収支計画書、四半期報告、事業報告書	7	5.6	3.5	1.4	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。(5点)	事業報告書・実地調査・収支報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
収入増加のための取組はされているか。(6点)	事業報告書・収支報告書	6	4.8	3.0	1.2	0

4 適正な管理運営（配点29点）						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（5点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	5	4.0	2.5	1.0	0
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。（3点）	事業計画書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。（3点）	四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。（3点）	事業計画書、四半期報告書、事業報告書、実地調査	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか（収支計画との乖離など）。会計処理は適切か（3点）	収支計画書、収支報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は適正に行われているか。（3点）	実地調査、事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分だったか。（3点）	実地調査・事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。（3点）	事業報告書	3	2.4	1.5	0.6	0
5 地域貢献（配点5点）						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	実地調査、事業報告書	5	4.0	2.5	1.0	0
総合点数（100点満点）				84.1点		
【加点項目】法人等が障害者雇用率を達成しているか。（3点）	障害者雇用率調書など	3.0		0		
総合点数（103点満点）				84.1点		

【評価基準】配点×掛け率＝評価点

評価	大変優れている	優れている	普通	劣っている	全く劣っている
掛け率	1.0	0.8	0.5	0.2	0

《総評》

施設の管理運営は良好である。新型コロナウイルスの影響が弱まったことから、利用者数、収支ともに回復傾向にある。様々な人たちが出会い交流できる地域の居場所づくりを目指し、多岐に亘った内容の講座を展開する等、利用者のニーズの把握に努めた結果、講座からサークル化へとつながっている。親子参加型の事業も多数展開しており、魅力ある講座及び自主事業の企画により、地域のコミュニティ活動の拠点としての役割を果たしている。

指定管理者セルフモニタリングの結果 ★★★★★

【総合評価結果とセルフモニタリング結果との差異など。セルフモニタリングに対する評価】

各項目を比較するとセルフモニタリング結果は総合評価に比べ、高い評価となっているが、利用者の高い満足度に表れているとの自己評価が、セルフモニタリング評価に反映されているものと受け止めている。